

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

THIS PAGE BLANK (USPTO)

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-030055

(43)Date of publication of application : 04.02.1997

(51)Int.CI. B41J 5/30
B65C 9/46
G06F 3/12
G09F 3/00

(21)Application number : 07-185345

(71)Applicant : TEC CORP

(22)Date of filing : 21.07.1995

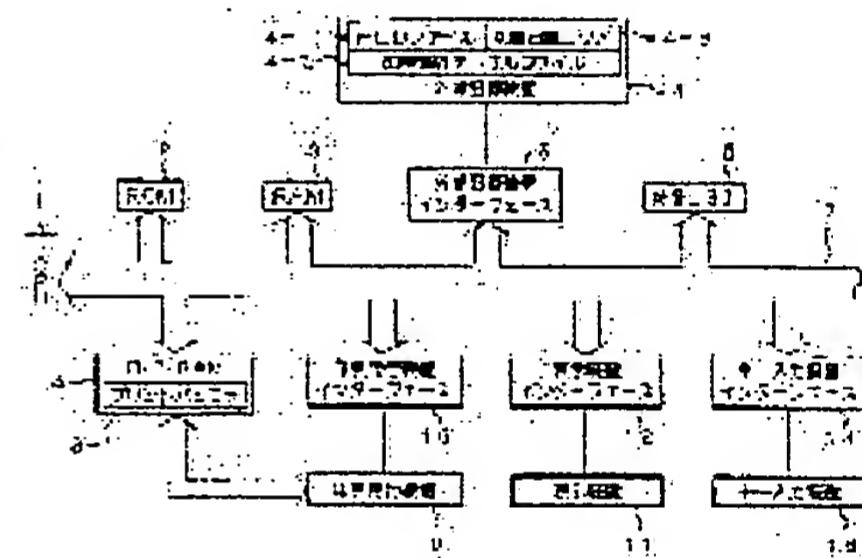
(72)Inventor : GOTO HIROYUKI

(54) LABEL PRINTER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To automatically set items, names and types of data of a time information regarding a quality of a commodity to improve operability by providing a means for printing a time information regarding a quality of a commodity on the basis of a selected set of item, name and type of data.

SOLUTION: A printing issuing device 9 can gain direct access to a D.P. RAM8 through a system bus 7, and a printing buffer 8-1, in which printing data are developed as bit map data, is formed in the D.P. RAM8. Formed in an external storage device 4 are a PLU file 4-1 serving as a commodity information storage means, in which commodity informations are stored per each commodity, a printing selection table file 4-2 serving as a quality time information table, which designates a format indicative of a time information guaranteeing a commodity quality, a switching number of days area 4-3, in which data of switching number of days for selecting a printing selection table is stored from the printing selection table file 4-2.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 31.03.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3083246

[Date of registration] 30.06.2000

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

Japanese Publication for Unexamined Patent Application

No. 30055/1997 (Tokukaihei 9-30055)

(A) Relevance to claim

This document has relevance to claims 1, 3, 5, 7,
8, 12, 13, and 16 of the present application.

(B) Translation of the Relevant Passages of the Document

[PRIOR ART]

[0003]

The processing date and the expiring date are time information for guaranteeing a commodity quality. The time information is not limited to this, but there are other displaying methods. For example, there are various item names such as a manufacturing date, and an exhibit date with respect to the processing date. Further, there are various item names such as a consumption-limit date, a quality-guarantee-limit date, and a usable period with respect to the expiring date. Further, as a data type of them, there are the following methods: (a) the limit date is displayed by date or time, and (b) the period is displayed by the number of days and the time-before-expiring.

[0015]

As shown in Fig. 2, with respect to each commodity number, a name of a commodity, its price, and various

THIS PAGE BLANK (USPTO)

commodity information such as the usable period are stored in the PLU file 4-1.

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(2)

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-30055

(43) 公開日 平成9年(1997)2月4日

(51) IntCl. [*]	識別記号	片内整理番号	P 1	技術表示箇所
B 41 J	5/30	B 41 J	5/30	B
B 65 C	9/46	B 65 C	9/46	
C 06 F	3/12	G 06 F	3/12	W
C 09 F	3/00	G 09 F	3/00	G

審査請求 未請求 請求項の数 1 OL (全 9 頁)

(21) 出願番号	特願平7-185345	(71) 出願人	0000035562
(22) 出願日	平成7年(1995)7月21日	(72) 発明者	株式会社テック 静岡県田方郡大仁町大仁570番地

(74) 代理人 技術士 鈴江 武雄
静岡県三島市南町6番78号 株式会社テック

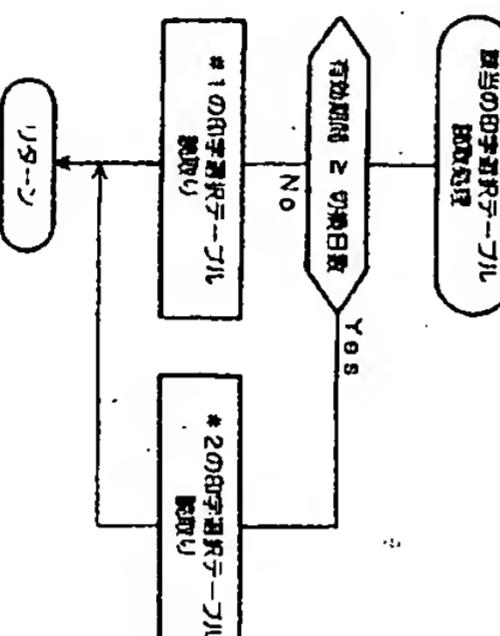
(54) [説明の範囲] ラベルプリンタ

【課題】大きなメモリ容量を必要とせずに、商品の品質

に関する時間情報の項目名及びデータ型を自動的に指定して、操作性の向上を図る。

【解決手段】加工日欄タイトル型、加工日欄データ型、有効日欄タイトル型、有効日欄データ型を指定する印字選択テーブルが複数設定された印字選択テーブルファイ

ルと、印字選択テーブルを選択するための切換日数データを記憶する切換日数エリアとを設け、この切換日数データとPLUファイルから読み取った商品情報の有効期間データとの比較に基づいて、印字選択テーブルを選択して読み取り、この読み取った印字選択テーブルに基づいて加工日欄及び有効日欄を作成する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 各商品毎に商品情報を記憶した商品情報記憶手段を備え、この商品情報記憶手段から呼出された商品情報に基づいて商品の販売情報をラベルプリンタにおいて、

前記ラベルに印字する商品の品質に関する時間情報の項目名及びデータ型の複数個の組合せを記憶した品質時間情報テーブルと、前記商品情報記憶手段から呼出された商品情報に基づいて、前記品質時間情報テーブルから一組の前記項目名称及びデータ型を選択するフォーマット選択手段と、

このフォーマット選択手段により選択された一組の前記項目名称及びデータ型に基づいて、前記商品の品質に関する時間情報を前記ラベルに印字する品質時間情報印字手段とを設けたことを特徴とするラベルプリンタ。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】 この発明は、各商品毎に商品情報を記憶した商品情報記憶手段を備え、この商品情報記憶手段から呼出された商品情報に基づいて商品の販売情報をラベルを印字するラベルプリンタに関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】 一般に、商品を値付するため、ラベルプリンタにより、商品名、値段、内容量、単価、バーコード、加工日、有効日や、店名やメッセージ等がラベルに印字される。バーコードは、短時間で正確に商品の値段を読み取るものである。

【0 0 0 3】 加工日及び有効日は、商品の品質を保証するための時間情報で、これには規定されるものではなく、他の表示方法がある。例えば、加工日に対しては、製造年月、陳列日等の各種項目名があり、また有効日に対しては、消費期限、品質保持期限、有効期間等の各種項目名がある。さらにそれらのデータ型として

は、期限として日付又は時刻で表示する方法や、期間として日数又は時間で表示する方法等がある。

【0 0 0 4】 このような商品の品質を保証するための時間情報の表示方法に関して、商品の性質によって、商品毎にその最適な表示方法が異なる。そこで、従来のラベルプリンタでは、初期設定で項目名及びデータ型を指定することにより、その指定された項目名及びデータ型で、商品の品質を保証するための時間情報が印字される。

【0 0 0 5】 また、例えば特開平5-261980号公報に記載されているラベルプリンタでは、PLU(price look up)ファイルに、各商品毎に商品情報の1つとし

て、タイトル(項目名)及びデータ(データ型)を指定するデータを登録して、PLUファイルから商品情報と共に呼出したタイトル及びデータを指定するデータに基づいて、その商品の品質を保証するための時間情報を

ラベルに印字する。

【0 0 0 6】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、初期設定で項目名及びデータ型を指定するラベルプリンタでは、取扱う商品が変わる度に、基本的に項目名及びデータ型を再指定する必要があり、操作性が悪いという問題があ

った。

【0 0 0 7】 また、特開平5-261980号公報に記載されているラベルプリンタでは、各商品毎にタイトル及びデータを指定するデータを登録しなければならず、

PLU登録業務によるオペレータの負担が大きいという問題があり、さらには、このタイトル及びデータを指定す

るデータのために多くのメモリ容量を必要として、メモリ容量が大きくなるという問題があった。

【0 0 0 8】 そこでこの発明は、大きなメモリ容量を必要とせずに、商品の品質に関する時間情報の項目名及びデータ型を自動的に指定することができ、操作性向上を図ることができるラベルプリンタを提供することを目的とする。

【0 0 0 9】

【課題を解決するための手段】 この発明は、各商品毎に商品情報記憶手段から呼出された商品情報記憶手段を備え、この商品情報記憶手段から呼出された商品情報記憶手段に基づいて商品の販売情報をラベルを印字するラベルプリンタにおいて、

ラベルに印字する商品の品質に関する時間情報の項目名及びデータ型の複数個の組合せを記憶した品質時間情報テーブルと、商品情報記憶手段から呼出された商品情報記憶手段から呼出された商品情報に基づいて、品質時間情報テーブルから一組の項目名及びデータ型を選択するフォーマット選択手段と、

このフォーマット選択手段により選択された一組の項目名及びデータ型に基づいて、商品の品質に関する時間情報をラベルに印字する品質時間情報印字手段とを設けたものである。

【0 0 0 10】

【発明の実施の形態】 以下、この発明の実施の形態を図面を参照して説明する。図1は、この発明を適用したラ

ベルプリンタの裏部回路構成を示すブロック図である。

【0 0 0 11】 1は、制御部本体を構成するCPU (central processing unit) である。このCPUが行う処理

のプログラムデータが記憶されたROM (read only memory) 2、前記CPUが処理を行う時に使用する各種メモリのエリアが形成されたRAM (random access memory) 3、フロッピーディスク装置又はハードディスク装置から構成された外部記憶装置インターフェイス4とのデータの伝送用

デバイス5、時間計LS16は、それぞれシステムバス7を介して前記CPUと接続されている。

【0 0 0 12】 また、前記CPUは前記システムバス

を介して、D·P·RAM (dualport random access memory) 8、このD·P·RAM 8に展開された印字データ

タ(ビットマップデータ)に基づいて用紙に印字を行う

のビットマップデータを作成する。
【0029】次に、植段のタイトル「お値段(円)」及
イトル作成処理を終了して、前述したプリントバッファ
作成処理に戻るようになっている。

【0021】ラベル発行モードが選択されていると判断すると、キー入力装置13からの品番の入力によりPLU入力が行われるまでの待機状態となる。ここで、PLU入力が行われると、その入力された品番に該当する商品情報(PLUデータ)をPLUファイル4-1から読み取る。

【0022】次に、後で詳述するプリントバッファ作成処理を行い、このプリントバッファ作成処理を終了するD・P・RAM8と、このプリントバッファ作成処理でD・P・RAM8のプリントバッファ8-1に作成されたビットマップデータに基づいて、ラベルを印字して発行する印字処理を行い(品質時間情報印字手段)、この印字処理を終了すると、再び前述したステップ1の処理へ戻るようになつている。

【0023】また、前述したステップ1の処理で、ラベル発行モードは選択されていないと判断すると、キーボード装置13の鍵キー(図示せず)により選択モードが選択される。

【0015】前記PLIJファイル4-1は、図2に示すよ
うに、各品番毎に、商品の品名、単価、有効期間等の各
種商品情報が記憶されるエリアが形成されている。ま
た、前記印字選択テーブルファイル4-2は、図3に示す
ように、各テーブルNo.毎に、加工日欄タイトル型4
-21、加工日欄データ型4-22、有効日欄タイトル型4
-23、有効日欄データ型4-24の各種データが記憶され
るエリアが形成されている。

【0016】前記加工日欄タイトル型4-21に設定され
るデータとしては、0、1、2、3、…という数値を取
ることができる、0は無印字を示し、1は「加工日」、2
は「製造年月日」、3は「陳列日」、…ということを示
す。

20 択され、さらにキー入力により印字選択テーブル設定モードが選択
一 ドが選択されているか否かを判断する。ここで、印字選
21 択テーブル設定モードは選択されていないと判断する
と、他の処理(設定モードの他の處理及、精算モード
や点検モード等の他のモードの処理)を行い、この他の
処理を終了すると、再び前述したステップ1の処理へ戻
るようになっている。

【0024】また、印字選択テーブル設定モードが選択
されると判断すると、テーブルNo. #1及び#2の2
30 データ(加工日欄タイトル型4-21、加工日欄データ型4-22、有効日欄データ型4-23、有効日欄データ型4-24)がキー入力装置13から入力されるまでの待機

〔0017〕前記加工日欄データ型4-22に設定されると、データとしては、0、1、…という数値を取ることができ、0は無印字を示し、1は前記時計LSI6から得られる日付データ、…ということを示す。

〔0018〕前記加工日欄タイトル型4-23に設定されるデータとしては、0、1、2、3、4、…という数値を取ることができ、0は無印字を示し、1は「消費期限」、2は「品質保持期限」、3は「有効日」、4は「有効期間」、…ということを示す。

〔0019〕前記加工日欄データ型4-24に設定されるデータとしては、0、1、2、…という数値を取ることができる、0は無印字を示し、1は前記時計LSI6から得られる日付データに前記PLIJファイル4-1から呼出されていいる有効期間データを加算した有効日データ、2

〔0025〕テーブルデータが入力されると、この入力されたテーブルデータに基づいて、印字選択テーブルファイル4-2の2つ（#1及び#2）の印字選択テーブルを設定（変更）して、切換日数データがキー入力装置から入力されるまでの待機状態となる。

〔0026〕切換日数データが入力されると、この入力された切換日数データに基づいて、切換日数エリア4-10に切換日数を設定（変更）して、再び前述したステップ1の処理へ戻るようになっている。

〔0027〕図5は、前述したプリントバッファ作成理の流れを示す図である。まず、プリントバッファ8-1をクリアし、呼出されている商品情報の品名データにおける品名部のエリアのその

【0020】図4は、前記CPU1が行うメイン処理の流れを示す図である。まず、ステップ1(ST1)の処理を示す。この処理は、品名のビットマップデータを作成する。
【0021】次に、品番、内容量及び寸法に算出される値段等の情報によりバーコードを作成し、プリン

6

のビットマップデータを作成する。

【0029】次に、値段のタイトル「お値段(円)」及びその値段データ、単価のタイトル「100g当たり(円)」及びその単価データ、内容量のタイトル「内容量(g)」及びその内容量データのそれぞれのビットマップデータを、プリントバッファ8-1のそれぞれのエリアに作成する。

【0030】次に、品番のタイトル「品番」のビットマップデータを、プリントバッファ8-1の品番タイトルのエリアに作成し、品番データのビットマップデータを、プリントバッファ8-1の品番データのエリアに作成する。次に、後述する該当の印字選択テーブル読取処理を行う。

【0031】この印字選択テーブル読取処理を終了すると、後述する加工日欄タイトル作成処理を行い、この加工日欄タイトル作成処理を終了すると、後述する加工日欄データ作成処理を行う。

【0032】この加工日欄データ作成処理を終了すると、後述する有効日欄タイトル作成処理を行い、この有効日欄タイトル作成処理を終了して、前述したプリントバッファイト作成処理を終了して、前述したプリントバッファ作成処理に戻るようになっている。

【0037】また、加工日欄タイトル型に1が設定されないと判断すると、加工日欄タイトル型に2が設定されているか否かを判断する。ここで、加工日欄タイトル型に2が設定されていると判断すると、プリントバッファ8-1の加工日欄タイトルのエリアに、タイトル「製造年月日」のビットマップデータを作成し、この加工日欄タイトル作成処理を終了して、前述したプリントバッファ作成処理に戻るようになっている。

【0038】また、加工日欄タイトル型に2が設定されないと判断すると、加工日欄タイトル型に3が設定されているか否かを判断する。ここで、加工日欄タイトル型に3が設定されていると判断すると、加工日欄タイトルのエリアに、タイトル「陳列日」のビットマップデータを作成し、この加工日欄タイトル作成処理を終了して、前述したプリントバッファ作成処理に戻るようになっている。

【0039】以下同様にして、加工日欄タイトル型として、後述する有効日欄タイトル作成処理を行い、この有効日欄タイトル作成処理を終了して、前述したプリントバッファ

20 効日欄タイトル作成処理を終了すると、後述する有効日
欄データ作成処理を行う。この有効日欄データ作成処理
を終了すると、このプリントバッファ作成処理を終了し
て、前述したメイン処理に戻るようになっている。

[0033] 図6は、前述した該当の印字選択テーブル
読取処理の流れを示す図である。まず、PLIファイル
4-1から読取られた商品情報の有効期間が切換日数エリ
ア4-3に設定されている切換日数以上か否かを判断す
る。

[0034] ここで、有効期間が切換日数未満と判断す
ると、印字選択テーブルファイル4-2からテーブルN
o. #1の印字選択テーブルを読取る。また、有効期間
が切換日数以上と判断すると、テーブルNo. #2の印
字選択テーブルを読取る(フォームマット選択手段)。そ

20 [0040] 図8は、前述した加工日欄データ作成処理
の流れを示す図である。まず、印字選択テーブルファイル4-2から読取られた印字選択テーブルの加工日欄データ型に0が設定されているか否かを判断する。ここで、
加工日欄データ型に0が設定されないと判断すると、
プリントバッファ8-1の加工日欄データのエリアにビットマップデータを何も作成せずに、この加工日欄データ作成処理を終了して、前述したプリントバッファ作成処理に戻るようになっている。

【0041】また、加工日欄データ型に0が設定されれば、いかないかを判断する。ここで、加工日欄データ型に1が設定されると、プリントバッファ8-1が設定されると判断すると、プリントバッファ8-1の加工日欄データのエリアに、この時計LSI6から得られた日付データのビットマップデータを作成し、この加工日欄データ作成処理を終了して、前述したプリントバッファ作成処理に戻るようになっている。

【0042】以下同様にして、加工日欄データ型として登録されたデータ仕様に基づく設定された数値に対して、加工日欄データを何も作成せずに、この加工日欄タイトル作成処理を終了して、前述したプリントバッファ作成処理に戻るようになっている。

【0043】また、加工日欄タイトル型に0が設定されないと判断すると、加工日欄タイトル型に1が設定されないと判断すると、この加工日欄データのエリアに作成し、この加工日欄データ作成処理を終了して、前述したプリントバッファ作成

(5)

イトル型に0が設定されているか否かを判断する。ここで、有効日欄タイトル型に0が設定されていると判断すると、プリントバッファ8-1の有効日欄タイトルのエリアにビットマップデータを何も作成せずに、この有効日欄タイトル作成処理を終了して、前述したプリントバッファ作成処理に戻るようになっている。

【0044】また、有効日欄タイトル型に0が設定されないと判断すると、有効日欄データ型に1が設定されているか否かを判断する。ここで、有効日欄データ型に1が設定されていると判断すると、プリントバッファ8-1に作成される。

【0045】また、有効日欄タイトル型に1が設定されないと判断すると、前述したプリントバッファ作成処理に戻るようになっている。タイトル「消費期限」のビットマップデータを作成し、この有効日欄タイトル作成処理を終了して、前述したプリントバッファ作成処理に戻るようになっている。

【0046】また、有効日欄タイトル型に2が設定されないと判断すると、有効日欄タイトル型に3が設定されているか否かを判断する。ここで、有効日欄タイトル型に2が設定されると、有効日欄タイトルのエリアに、タイトル「品質保持期限」のビットマップデータを作成し、この有効日欄タイトル作成処理を終了して、前述したプリントバッ

フア8-1の有効日欄タイトルのエリアに、タイトル「品質保持期限」のビットマップデータを作成し、この有効日欄タイトル作成処理を終了して、前述したプリントバッファ作成処理に戻るようになっている。

【0047】また、有効日欄タイトル型に3が設定されないと判断すると、前述したプリントバッファ作成処理に戻るようになっている。

【0048】以下同様にして、有効日欄データ型としていないと判断すると、前述したプリントバッファ作成処理に戻るようになっている。

【0049】図10は、前述した有効日欄データ作成処理の流れを示す図である。まず、印字選択テーブルの流れを示す図である。まず、印字選択テーブルア

(6)

る。

【0057】ここで、有効期間2が切換日数4より小さいので、印字選択テーブルファイル4-2からは、テーブルNo. #1の印字選択テーブル「1、1、1、1」が読み取られ、この印字選択テーブルにしたがって、加工日欄及び有効日欄を作成するためのデータを設定しない

【0050】また、有効日欄データ型に0が設定されないと判断すると、有効日欄データ型に1が設定されているか否かを判断する。ここで、有効日欄データ型に1が設定されていると判断すると、プリントバッファ8-1に作成される。

【0051】また、有効日欄データ型に1が設定されないと判断すると、有効日欄データ型に2が設定されているか否かを判断する。ここで、有効日欄データ型に2が設定されていると判断すると、プリントバッファ8-1の有効日欄データのエリアに、この時、時計LS16から得られた日付データにPLUファイル4-1から読み取った商品情報のうちの有効期間データを加算した有効日付が作成され、有効日欄タイトル型が1であるから、「加工日」が作成され、加工日欄データ型が1であるから、時計LS16及びPLUファイル4-1から読み取った商品情報の有効期間データにより有効日が作成される。このように作成されたビットマップデータに基づいていないと判断すると、有効日欄データ型に2が設定されているか否かを判断する。ここで、有効日欄データ型に2が設定されていると判断すると、プリントバッファ8-1の有効日欄データのエリアに有効期間データのビットマップデータを作成し、この有効日欄データ作成処理を終了して、前述したプリントバッファ作成処理に戻るようになっている。

【0052】以下同様にして、有効日欄データ型として設定された数値に対して登録されたデータ仕様に基づくデータのビットマップデータを、プリントバッファ8-1の加工日欄データのエリアに作成し、この加工日欄データ作成処理を終了して、前述したプリントバッファ作成処理に戻るようになっている。

【0053】このような構成の実施の形態において、タイトル作成処理を終了して、前述したプリントバッファ作成処理に戻るようになっている。

【0054】例えは、ここではテーブルNo. #1として定する印字選択テーブルをカーソルを移動させる等により指定し、その指定した印字選択テーブルの加工日欄データ型、加工日欄データ型、有効日欄タイトル型を順次設定する。

【0055】ここで、有効期間10が切換日数4より大きいので、印字選択テーブルファイル4-2からは、テーブルNo. #2の印字選択テーブル「1、1、2、1」が読み取られ、この印字選択テーブルにしたがって、加工日欄及び有効日欄のビットマップデータがプリントバッファ8-1に作成される。

【0056】すなわち、加工日欄タイトル型が1であるから、「加工日」が作成され、加工日欄データ型が1であるから、時計LS16から得られた日付データにより日付が作成され、有効日欄データ型が1で

あるから、時計LS16及びPLUファイル4-1から読み取った商品情報の有効期間データにより有効日が作成される。このように作成されたビットマップデータに基づいて、図12に示すように、商品「明太子」のラベルが印字発行される。

【0057】また、商品「明太子」を対象としてラベルを発行する場合、品番0002を入力することにより、PLUファイル4-1から品名明太子、裏番998、有効期間10、…等の商品情報が読み取られる。

【0058】さらに加えて、別途等(図示せず)から得られた内容量(計量)データに基いて複数が算出され、プリントバッファ8-1に品名、バーコード、品番、単価、値段、内容量等のビットマップデータが作成される。

【0059】また、この実施の形態においては、商品情報の有効期間データに基いて印字選択テーブルを選択することができる。従って、オペレータは予め印字選択テーブルファイル4-2及び切換日数ファイル4-3を適切に選択するだけで良いので、操作性の向上が図ることができ

る。

【0060】なお、この実施の形態においては、商品情報の有効期間データに基いて印字選択テーブルを選択することができるが、この発明はこれに限定されるものではなく、商品情報を構成するデータは全て対象となり、例えば品番や部門コード、単価等を考慮して印字選択テーブルを選択するようにしても良いものである。

【0061】また、この実施の形態においては、印字選択テーブルを2個設定するものに付いて説明したが、この発明はこれに限定されるものではなく、3個以上設定するものにも適用できるものである。

【0062】【発明の効果】以上詳述したようにこの発明によれば、大きなメモリ容量を必要とせずに、商品の品質に関する時間情報の項目名称及びデータ型を自動的に指定することができ、操作性の向上を図ができるラベルプリンタを提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この実施の形態のラベルプリンタの要部回路構成を示すブロック図。

【図2】同実施の形態のラベルプリンタのPLUファイルのメモリ構成を示す図。

【図3】同実施の形態のラベルプリンタの印字選択テーブルファイルのメモリ構成を示す図。

【図4】同実施の形態のラベルプリンタで行われるメイン処理の流れを示す図。

【図5】同実施の形態のラベルプリンタで行われるメイン処理の中のプリントバッファ作成処理の流れを示す図。

【図6】同実施の形態のラベルプリンタで行われるプリントバッファ作成処理中の印字選択テーブル読み取りの流れを示す図。

【図7】同実施の形態のラベルプリンタで行われるプリントバッファ作成処理の中の加工日欄タイトル作成処理の流れを示す図。

【図8】同実施の形態のラベルプリンタで行われるプリントバッファ作成処理の中の加工日欄データ作成処理の流れを示す図。

【図9】同実施の形態のラベルプリンタで行われるプリントバッファ作成処理の中の加工日欄データ作成処理の流れを示す図。

【図10】同実施の形態のラベルプリンタで行われるプリントバッファ作成処理の中の加工日欄データ作成処理の流れを示す図。

【図11】この実施の形態のラベルプリンタの要部回路構成を示すブロック図。

【図12】同実施の形態のラベルプリンタのPLUファイルのメモリ構成を示す図。

【図13】同実施の形態のラベルプリンタの印字選択テーブルファイルのメモリ構成を示す図。

【図14】同実施の形態のラベルプリンタで行われるメイン処理の流れを示す図。

【図15】同実施の形態のラベルプリンタで行われるプリントバッファ作成処理の流れを示す図。

【図16】同実施の形態のラベルプリンタで行われるプリントバッファ作成処理中の印字選択テーブル読み取りの流れを示す図。

【図17】同実施の形態のラベルプリンタで行われるプリントバッファ作成処理中の加工日欄タイトル作成処理の流れを示す図。

【図18】同実施の形態のラベルプリンタで行われるプリントバッファ作成処理中の加工日欄データ作成処理の流れを示す図。

【図19】同実施の形態のラベルプリンタで行われるプリントバッファ作成処理中の加工日欄データ作成処理の流れを示す図。

【図20】同実施の形態のラベルプリンタで行われるプリントバッファ作成処理中の加工日欄データ作成処理の流れを示す図。

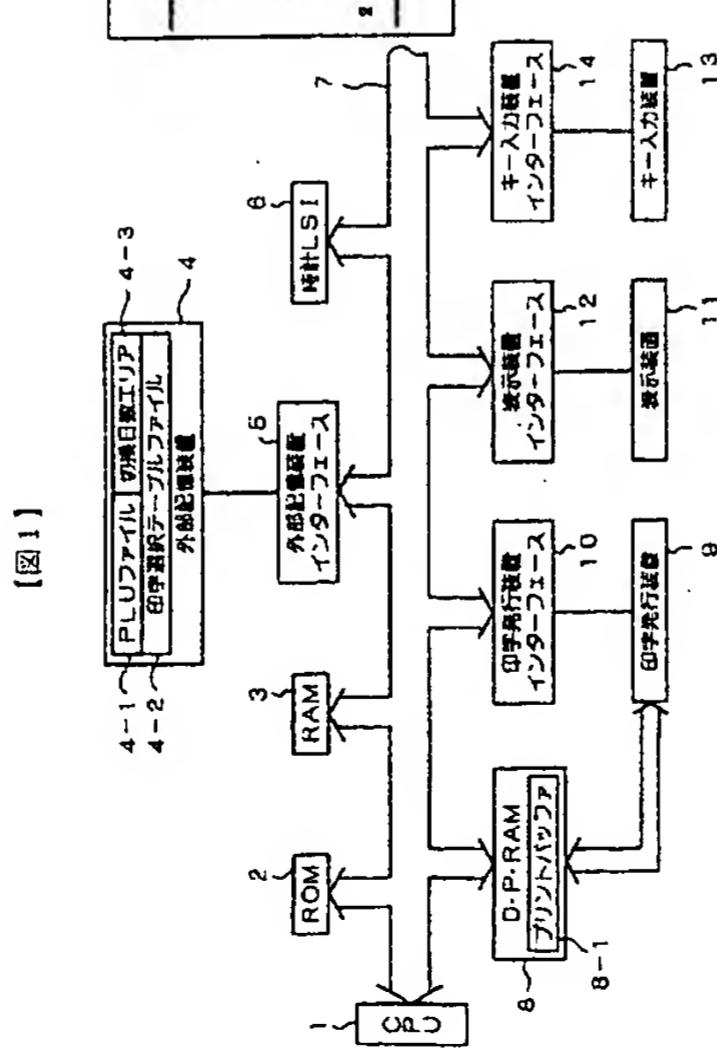
リントバッファ作成処理の中の有効日欄データ作成処理
の流れを示す図。

【図1-1】同実施の形態のラベルプリンタで印字発行されたラベルの一例を示す図。

【図1-2】同実施の形態のラベルプリンタで印字発行されたラベルの他の例を示す図。

【符号の説明】

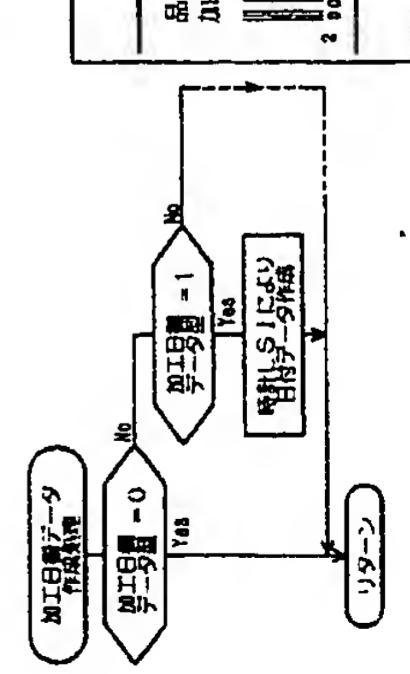
1…C P	4-1…P	4-2…印字	6…時計	8-1…P	9…印字
-------	-------	--------	------	-------	------



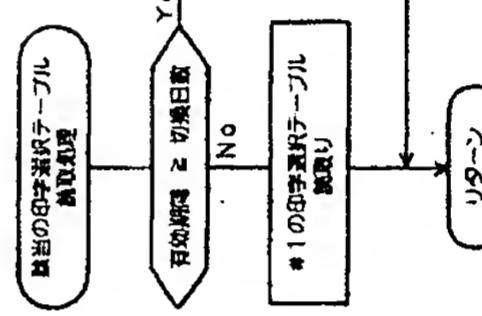
[図3] [図2]

品番	品名	単価	販売数量	4-2			
				販売日 月 日 年	加工日 月 日 年	デリバリー 月 日 年	予定日 月 日 年
0001	さしあわせ	1,000	2			#1	1
0002	明太子	998	10			#2	1

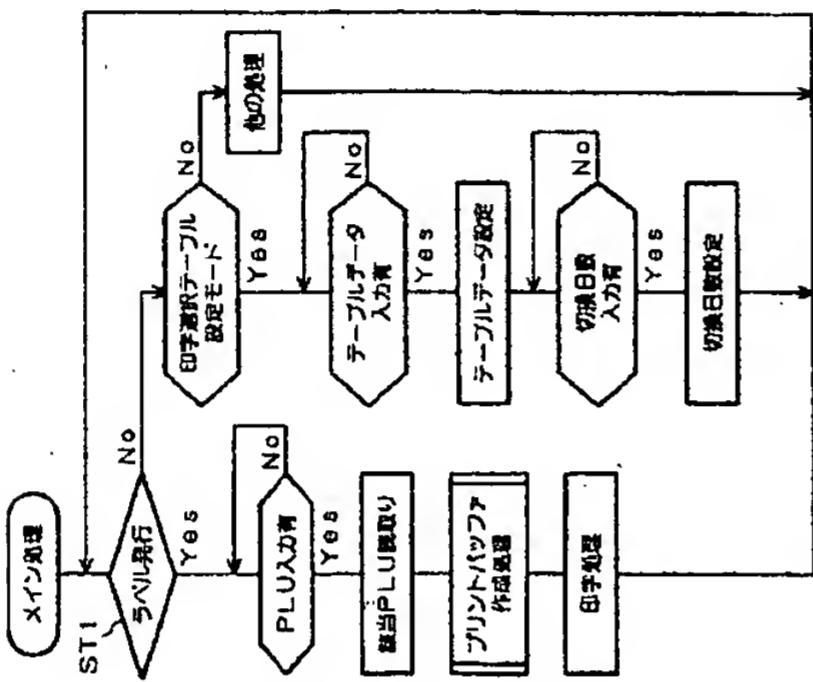
18



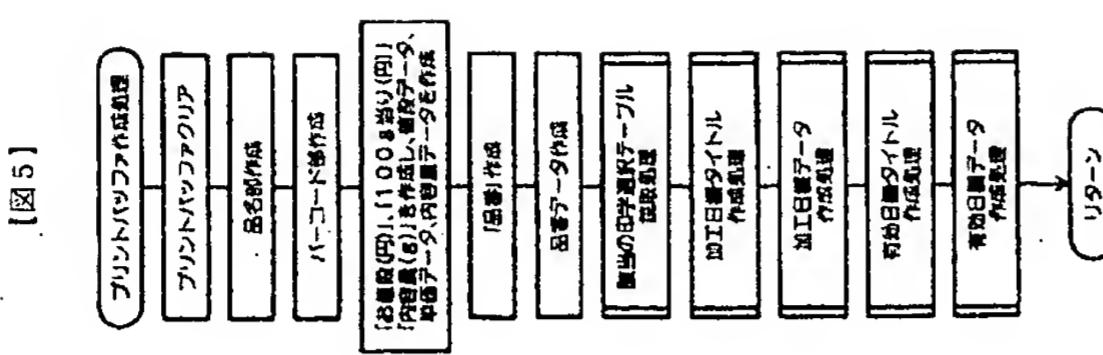
101



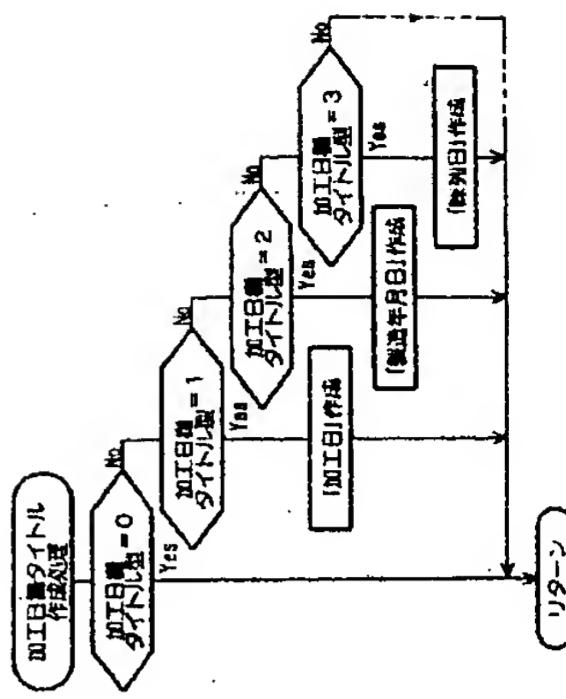
[] 61



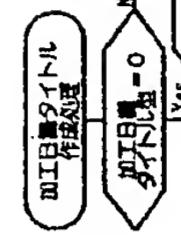
3



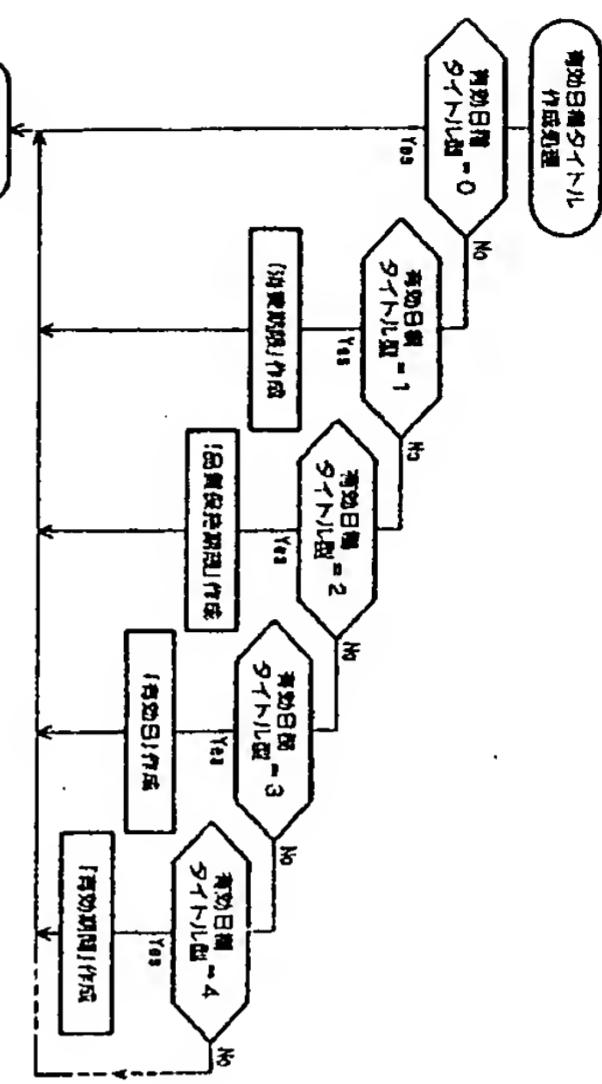
[5]



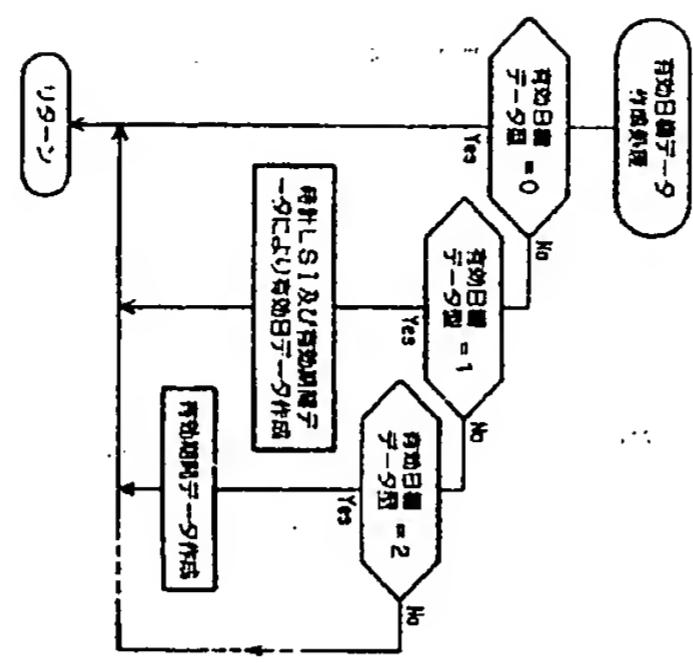
171



6



101



THIS PAGE BLANK (USPTO)